

公 表 日
平成 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	大分川改修工事影響・対策等検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 久田 成昭 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	平成29年 2月13日
契約業者名	基礎地盤コンサルタンツ (株)
契約業者の住所	大分県大分市千代町1-2-35
契 約 金 額	25,326,000円 (税込み)
予 定 価 格	25,369,200円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	大分県大分市
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	平成29年 2月14日
履行期間 (至)	平成29年10月30日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 大分川改修工事影響・対策等検討業務
2. 履行場所 大分県大分市
3. 契約の相手方 住所：大分県大分市大字曲936番地1
会社名：基礎地盤コンサルタンツ（株）
電話：(097)538-9033
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由
 - 1) 当該業務の目的
本業務は、大分川上流にて実施予定の改修工事における上水取水施設への影響・対策検討を行うとともに堤防安全性検討資料等のとりまとめを行う業務である。
 - 2) 業務の内容
計画立案、資料収集整理、大分川改修工事影響・対策検討、大分川堤防安全性照査とりまとめ、大分川堤防補強効果検討、報告書作成
 - 3) 契約に付する理由
本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。
参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、10者から参加表明書が提出され、10者が参加資格を有していた。
参加資格を有する参加表明書提出者のうち5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。
建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。
特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」における有益な代替案、重要事項の指摘及び特定テーマの「今後の大分川治水対策を行うにあたっての主な着目点と対応方針」に対する技術提案における的確性の提案内容について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長